

「第7回 本明川流域減災対策協議会」開催

本明川流域減災対策協議会では、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築するため、河川管理者、気象台、県、市等が連携・協力して本明川流域における洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進しているところです。

第7回協議会では、令和4年2月に策定した「本明川の減災に係る取組方針」について、今年度の取組状況を確認し、関係機関と情報共有を行いました。

1. 概要

- ・日 時 : 令和5年2月17日(金)
- ・会 場 : 諫早市役所、Web方式併用
- ・出席者 : 諫早市、長崎県、長崎地方気象台、
長崎河川国道事務所



會議風景

2. 議事内容

- ①規約の改正について
- ②本明川流域減災対策協議会の取組方針について
- ③今年度の実施状況について
- ④情報提供(ワンコイン浸水センサの実証実験について、
洪水に関する危険度情報の一体的発信について)

諫早大水害を語り継ぐ 諫早市・長崎県・長崎地方気象台・長崎河川国道事務所

あらゆる世代に対して諫早大水害を語り継ぐことを継続する【引き続き実施】

〇令和4年度は、諫早大水害から65年の節目であるため、「長崎大水害40年・諫早大水害65年メモリアル」事業として県内関係団体で調査委員会を結成し、各機関で各々の取り組みを実施



諫早市の自由道路でパネル展



「諫早大水害を語り継ぐ」講演会での後援



ラジオ番組(FM諫早)での広報

3

想定される浸水リスクの周知

長崎地方気象台

在留外国人・訪日外国人旅行者に対する防災情報の普及・啓発【令和2年度から順次実施】

在留・訪日外国人の方が防災気象情報を理解し安全な避難行動に結びつけるための母国語のポスター解説コンテンツ等を作成・配布（提供）することで、外国の方々を含めた地域全体の防災力を向上させることを目的とする。

令和4年1月2日国際防災週間

自然体へ配慮

令和4年1月～英語版追加

関係機関と連携し、
外国人が必要とする
防災気象情報のニース
防食を実施

多言語に富んだ主
要なコンテンツを気
象台HPに掲載

やさしい日本語リー
フレット制作・配
布、
ベトナム語、中国語
解読リーフレット制
作・配布

解説リーフレットの
対象国を拡大、拡充
・HPに掲載

令和2年度
ステージ 01
利用実態調査

令和3年度
ステージ 02
電子コンテンツ
提供

令和3年度
ステージ 03
リーフレット
制作・配布

令和4年度以降
ステージ 04
書籍の拡充

3. 要旨

・「本明川の減災に係る取組方針」に基づく各機関における今年度の取組状況について確認を行った。

土砂災害警戒情報を補足する情報の提供 長崎県

土砂災害警戒区域等の現地表示促進

避難所など標識設置箇所を中心に土砂災害警戒区域等を表示する標識の設置【令和4年度予定】

- ・標識データの描画作成【令和3年度】
- ・標識の市町への移管について了承を得た箇所から設置開始【令和4年度】